

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフKANI		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		2024年 9月30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2024年 9月1 日		2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月13 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の療育を基本とし、子どもたちのコミュニケーション・社会性を育みながら、個別療育や保護者様のニーズに添った支援を提供しております。	子どもたちの気持ちを大切に、小集団や個別での対応を意識しながら、保護者様から頂いた情報をもとに支援に繋げられるようにスタッフ同士での情報共有に気を付けています。	保護者様との連携を大切に、保育園や学校に繋がる支援ができるよう取り組んでいます。
2	支援目的に合わせて、部屋の使い分けをしそれぞれの部屋にあった環境設定をしています。	活動をする部屋と学習(イス・机)する部屋など場面場面にあった部屋の利用をしながら、集中して取り組めるようにしています。	活動をする部屋では、体がたくさん動かせるような物の配置をし学習(イス・机)の部屋では机に仕切りがあるので、集中して取り組んでいます。
3	多国籍言語に対応したスタッフを配置しており、有資格者もったスタッフがあり、様々な言語のお子様にご利用して頂いております。	有資格者のスタッフが、自分の資格の専門知識を活かしながら支援に取り組み、スタッフ同士アドバイスをしながら支援をおこなっています。	研修などに参加をし、有資格者の知識が高められるようにし、スタッフ同士の意識向上に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを一部の地域しか提供できていない。	支援に注力しており、送迎業務に配置する人員が不足している。	送迎要因の確保を検討をおこなっていきます。
2	給食の提供ができていない。	一人一人にあった、メニューや形状の提供が難しい。	それぞれの形状や思考について保護者様と連携をとりながら進めていきます。
3	吊るす遊具の配置が難しい。	建物の構造上、ブランコなどの吊るす遊具の配置が難しい。	吊るす遊具以外の配置をおこなっていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						回収数	
ワンライフ KANI		2024年 11月 18日						17	9
		利用児童数				回収数			
		17				9			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					引き続き確保していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					できる限り余裕のある配置数で対応していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					配慮を引き続きしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					引き続き清掃、清潔な空間を保っていきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					利用児のことを理解できるように保護者とのコミュニケーションを大切にしています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1				プログラム内容を周知させ、行ってまいります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					引き続き理解に努めていきます。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1				具体的な支援を考えるために、引き続き保護者とのコミュニケーションや、支援中の利用児の様子を共有していきます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					引き続き計画に沿って支援していきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					引き続き努めていきます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6			2		今後、交流の機会に努めていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					引き続き、丁寧に説明していきます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					引き続き、丁寧に説明していきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1		2		今後もイベントなどで、支援プログラムなどに取り組んでいきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					引き続き、保護者とのコミュニケーションをとり、こどもの状況把握に努めていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					今後も行っていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					今後も行っていきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7		2			イベントの開催をし、保護者同士の交流の機会や相談の機会を設けています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	1	1		相談などの対応をより迅速に対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	1			保護者との意思疎通が取れるように日頃のコミュニケーションを大事にし対応できるようにします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8		1			SNSを使い、活動内容を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8		1			個人情報の取扱いに注意し、取り組んでいます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1	3		保護者への周知が少ないため、より一層説明をしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		1	3		訓練の様子が分かるように説明、周知をしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8		1			けがのないように、安全点検をし、安全の確保を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8		1			事故が発生した場合、すぐに連絡を取り、保護者に対しけがの状態や起こった経緯などの状況説明をします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					子どもに寄り添い、楽しく活動できる環境になるように取り組んでいます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					活動内容の充実を図り、様々な経験を積める環境を作っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					子どもや保護者とコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンライフ KANI				公表日	2024 年 11 月 18 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			これまでと同じようにスペースを確保していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			適切に配置している。多めに配置をし、ゆとりある支援に配慮をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		ボールプールが木だから危ない	点検をしながら、安全に努めています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			清掃、消毒を定期的に行い、清潔に過ごせるような空間になっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			こどもの体調により、安定させるために使用できる場所がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			話し合いの機会を設けて、改善策を考えている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			保護者から意見があった場合に内容を共有し、対応をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		連絡ノートを使って共有している。職員の意見や決定事項など連絡ノートを使い、職員間で共有している。	話し合いの機会を設けて、改善策を考えている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		これから、もっと意見をふまえて業務につなげます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			毎月研修を行っております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			アセスメントをする機会を設け、こどもに合った支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			何かの課題があった場合に話し合いで対策を検討し、より良い支援につなげています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			計画に対し共通理解をし、支援を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			はい、作成しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			はい、設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			話し合いプログラムを立てています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			アイデアを出し合っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			はい、行われています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			チームで連携をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2		足りないようなので、共有をもっと持てる機会を作ります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			最善策は何かを考え、次回につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			はい、行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			はい、行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			連携が取れるように整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			共通認識を持つために関係施設とコミュニケーションを取っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			はい、図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					はい、設けられています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4			今後、地域交流や参加に努めていきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				こどもに対して、気になることがあったり様子を話し共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3			相談のついでですが、今後はどのようなものがこどもに適切かを保護者が知れる機会を設けていきたいです。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				行っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				はい、設けられています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			相談できる機会を設けている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		イベントで保護者同士が話せる時間を設けています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			対応し、保護者に内容を伝えていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			はい、しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			保管場所など、留意しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			配慮をしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		ご近所の人に挨拶をし、開かれた印象を持ってもらうように努めています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2		確認していますが、改めて情報の共有をします。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	食物アレルギーの子どもはいません。	今のところは、いません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			行われています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			周知しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			問題があった場合、話し合い検討をしています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			対応をしています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		記載されていることを改めて伝えます。	